

村上市環境基本計画の進行管理について  
～平成23年度の評価結果～

1. 基本計画のめざすもの

環境基本計画は、恵み豊かな自然との共生を図りながら、環境への負荷の少ない社会を築くため、基本理念を定め、市・市民・事業者の責務を明らかにし、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に策定されました。

この計画で目指すまちの姿は「山・川・海・豊かな自然に恵まれた歴史と伝統を継承するまち」とする環境像を掲げています。

2. 計画の期間

平成23年度から平成32年度までの10年間とします。ただし、経済社会情勢の変化や新たな環境問題の解決に柔軟に対応するため、期間の中間年度（平成27年度）において見直しを行い、必要に応じて計画の修正を行います。

3. 環境基本計画の具体的な展開

村上市環境基本計画の実効性を高めるために、基本目標を個別に分類し、それに関する政策方針を定め、さらに細分化した事業に位置付けています。また、総合計画との整合性を考慮し、成果指標として目標値を設定しています。

そして、毎年、施策展開の方向ごとに位置付けられた個別事業の進捗状況を点検・評価することで、取組みを着実に進めています。

4. 環境基本計画進の行管理（評価結果）

今年度は、基本計画のマトリックスに基づき、関係各課に対し、平成23年度分の個別事業の進捗状況を求めました。また、評価の判断理由、今後の取組み等についても併せて調査を実施し、これを環境課で検証して、総括的な評価を行いました。

調査の概要及び総括的な評価は次のとおりです。

[調査概要]

(1) 個別事業

\* 調査目的 施策の展開の方向ごとに位置付けられた事業の進捗状況の点検・評価及び達成状況の総括的な評価を行う。

\* 調査対象 平成23年度の個別事業の進捗状況

\* 評価方法 各課の自己評価（事業目標を3段階に評価）

「○」 達成若しくは概ね達成したもの

「△」 部分的に達成若しくは今後達成見込みのもの

「×」 未達成のもの（取組方針の変更や廃止などを含む）

(2) 環境指標及び数値目標

\* 平成23年度の数値について、項目ごとに、各課に進捗状況を求めました。

[総括的な評価]

計画に位置付けられた事業のうち、「達成若しくは概ね達成（○）」と「部分的に達成若しくは今後達成見込みのもの（△）」を合わせると、145事業、75.1%となり、計画期間の初年度としては順調と考えられます。また、「未達成のもの（×）」は48事業になりました。未達成事業の中には7項目のアンケートが未実施も要因となります。

総括的な評価としては、計画期間の初年度ということもあり、事業の推進まで至らなかった事業もありますが、早い段階での取組みが必要と考えられます。

[平成23年度の調査結果]

項目	個別事業の進捗状況（事業数）			合計 ※(事業数)
	達成・概ね達成 「○」	部分的・達成見込 「△」	未達成 「×」	
1. 緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する。	30	10	14	54
2. 清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する	28	16	10	54
3. 歴史と伝統のある地域社会の中で快適な暮らしを創造する	14	6	4	24
4. 地域から世界を考え地球環境の保全に取り組む	7	7	7	21
5. 環境の保全に市民・事業者・行政が一体となって取り組む	12	15	13	40
合計	91	54	48	193
	47.1%	28.0%	24.9%	100.0%

※事業数については、複数の課で取り組む事業があることから、合計数を記載

村上市環境基本計画 環境指標及び数値目標

(平成 23 年度進捗状況)

1-1 山々の緑と水を大切にす

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
間伐等実施面積	484ha (平成 20 年度)	<b>683. 25ha</b>	500ha (平成 28 年度)
防除区域内松くい虫被害面積	0ha (平成 20 年度)	<b>0ha</b>	0ha (平成 28 年度)

1-3 美しい海岸を大切にす

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
海岸の美しさに関する満足度 (アンケート調査)	55. 4% (平成 22 年度)	— (未実施)	75. 1% (平成 32 年度)

1-4 野生の動植物を保護し、生息・生育環境を大切にす

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
有害鳥獣による被害面積 (※)	230. 9ha (平成 21 年度)	<b>218. 9ha</b>	184. 7ha : 2 割削減 (平成 24 年度)
身近に見かける動植物の豊か さに関する満足度 (アンケート 調査)	58. 9% (平成 22 年度)	— (未実施)	79. 5% (平成 32 年度)

※ 「村上市鳥獣被害防止計画」(平成 22 年 1 月) より引用

2-1 さわやかで気持ちの良い空気を守る (大気環境の保全)

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
光化学オキシダント注意報発 令件数	0 件 (平成 22 年度)	<b>0 件</b>	0 件 (平成 32 年度)
空気のきれいさに関する満足 度 (アンケート調査)	67. 0% (平成 22 年度)	— (未実施)	84. 5% (平成 32 年度)

2-2 清らかなおいしい水を守る (水環境の保全)

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値	
BOD 等の環境基準達成率	100% (平成 21 年度)	<b>100%</b>	100% (平成 28 年度)	
水のきれいさに関する満足度 (アンケート調査)	60. 4% (平成 22 年度)	— (未実施)	80. 2% (平成 32 年度)	
上水道水質基準適合率	100% (平成 21 年度)	<b>100%</b>	100% (平成 28 年度)	
上水道普及率	96. 3 (平成 20 年度)	<b>98. 7%</b>	98. 5% (平成 28 年度)	
水洗 化率	公共下水道	52. 0% (平成 20 年度)	<b>62. 5%</b>	71. 3% (平成 28 年度)
	集落排水	75. 4% (平成 20 年度)	<b>76. 0%</b>	83. 2% (平成 28 年度)
	合併処理浄化槽	74. 1% (平成 20 年度)	—	79. 5% (平成 28 年度)

2-3 土壌と地下水の安全を守る

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
新たな土壌・地下水汚染発生件 数	0 件 (平成 22 年度)	<b>0 件</b>	0 件 (平成 32 年度)

2-4 静かで落ち着いた環境を守る

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
市道改良率	68. 0% (平成 20 年度)	<b>69. 1%</b>	69. 0% (平成 28 年度)
家のまわりの静けさに関する 満足度 (アンケート調査)	69. 9% (平成 22 年度)	— (未実施)	84. 3% (平成 32 年度)

### 2-5 安全・安心な生活を確保する

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
化学物質による環境汚染事故の発生件数	0 件 (平成 22 年度)	0 件	0 件 (平成 32 年度)
浸水被害区域の解消率 [浸水被害解消区域面積]	5.8% [0.4ha] (平成 20 年度)	—	97.4% [6.8ha] (平成 28 年度)

### 2-6 ごみや汚れのない美しいまちを創造する

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
クリーン作戦や一斉清掃の実施回数	80 回 (平成 20 年度)	83 回	80 回 (平成 28 年度)
地域の清潔さに関する満足度 (アンケート調査)	28.5% (平成 22 年度)	— (未実施)	64.2% (平成 32 年度)

### 2-7 資源を大切に作る循環型社会を作る

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
1 人 1 日あたりのごみ排出量 (※)	795.9 g/人・日 (平成 20 年度)	1059.0 g/人・日	795.0 g/人・日 : -0.1% (平成 27 年度)
1 人 1 日あたりの家庭から排出されるごみの量 (※)	656.8 g/人・日 (平成 20 年度)	770.1 g/人・日	566.8 g/人・日 : -13.7% (平成 27 年度)
事業系ごみの総量 (※)	8,071.0 t/年 (平成 20 年度)	7,771.0t/年	6,849.0 t/年 : -15.1% (平成 27 年度)
リサイクル率 (※)	14.4% (平成 20 年度)	14.0%	26.8% (平成 27 年度)
最終処分量 (※)	2,610.0 t/年 (平成 20 年度)	2,561.0t/年	1,084.4 t/年 : -58.4% (平成 27 年)

※ 数値は「村上地域循環型社会形成推進地域計画」より引用 (関川村分を含む)

### 3-1 歴史と伝統を継承し、新たな文化を創造する

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
町並みの美しさに関する満足度 (アンケート調査)	50.2% (平成 22 年度)	— (未実施)	73.8% (平成 32 年度)

### 3-2 快適な暮らしと生活空間を創造する

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
市民一人あたりの都市公園数 面積	21.85 m <sup>2</sup> (平成 22 年度)	21.90 m <sup>2</sup>	24.37 m <sup>2</sup> (平成 32 年度)

### 4-1 地球温暖化対策を推進する

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
温室効果ガスの年間総排出量	463.2 千 t-CO2 (平成 2 年 ; 1990 年)	—	458.7 千 t-CO2 (平成 32 年 ; 2020 年)
公用車の低公害車導入台数	53 台 (平成 21 年度)	—	150 台 (平成 32 年度)

### 5-2 環境教育・環境学習の実施

環境指標	現況値 (計画時)	平成 23 年度	目標値
「こどもエコクラブ」の登録件数	1 件 (平成 22 年度)	1 件	10 件 (平成 32 年度)
クラインガルテン利用者数	0 人 (平成 20 年度)	延べ 533 人	延べ 3000 人 (平成 28 年度)





